

貯法 密封容器

承認指令書番号 農林水産省指令3動薬第2296号
販売開始 1989年3月

使用前に必ず本書を読み、内容を理解したうえで使用してください。
また、本書を必要なときに参照できるように大切に保管してください。

動物用医薬品

アミノグリコシド系抗菌薬

要指示医薬品 指定医薬品 使用基準

カナマイ注250「フジタ」

KANAMY INJ.250「FUJITA」

カナマイシンは、アミノグリコシド系抗生物質の一種でブドウ球菌、グラム陰性菌、抗酸菌に対して蛋白質合成の阻害により殺菌的に抗菌力を発揮します。その作用は強く、これらの感染症に対してすぐれた効果を示します。

【成分及び分量】

本剤 1 mL 中
カナマイシン硫酸塩…………… 250 mg (力価)

【効能又は効果】

有効菌種

パスツレラ

本剤感受性の次の菌種：ブドウ球菌、コリネバクテリウム、大腸菌、サルモネラ、プロテウス

適応症

牛：肺炎、気管支炎、細菌性下痢症、細菌性関節炎、乳房炎

豚：肺炎、細菌性下痢症

鶏：大腸菌症

【用法及び用量】

1 日 1 回体重 1 kg 当たりカナマイシンとして下記の量を筋肉内に注射する。
牛：5 ～ 10 mg (力価) (カナマイ注250「フジタ」として 0.02 ～ 0.04 mL)
豚：10 ～ 20 mg (力価) (カナマイ注250「フジタ」として 0.04 ～ 0.08 mL)
鶏：25 ～ 50 mg (力価) (カナマイ注250「フジタ」として 0.10 ～ 0.20 mL)

【使用上の注意】

(基本的事項)

1. 守らなければならないこと

(一般的注意)

- ・本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用すること。
- ・本剤は効能・効果において定められた適応症の治療にのみ使用すること。
- ・本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
- ・本剤の使用に当たっては、治療上必要な最小限の期間の投与に止めることとし、4 日以上にわたる連続投与は行わないこと。
- ・本剤は、「使用基準」の定めるところにより使用すること。

注意：本剤は医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第 83 条の 4 の規定に基づき上記の用法及び用量を含めて使用者が遵守すべき基準が定められた動物用医薬品ですので、使用対象動物（牛、豚、鶏）について上記の用法及び用量並びに次の使用禁止期間を遵守してください。

牛：食用に供するためにと殺する前 30 日間又は食用に供するために搾乳する前 36 時間

豚：食用に供するためにと殺する前 30 日間

鶏：食用に供するためにと殺する前 14 日間又は食用に供する卵の産卵前 10 日間

(取扱い及び廃棄のための注意)

- ・本剤の外観又は内容物に異常が認められた場合は使用しないこと。
- ・本剤は他の薬剤と混合して使用しないこと。
- ・開封後は速やかに使用すること。
- ・本剤は有効期間を設定してある動物用医薬品なので使用期限を過ぎた製品は使用しないこと。
- ・注射器具は滅菌されたものを使用すること。
- ・注射針は必ず1頭ごとに取りかえること。
- ・小児の手の届かないところに保管すること。
- ・本剤の保管は直射日光及び高温を避けること。
- ・使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- ・本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- ・使用済みの注射針は、針回収用の専用容器に入れること。針回収用の容器の廃棄は、産業廃棄物収集運搬業及び産業廃棄物処分業の許可を有した業者に委託すること。

2. 使用に際して気を付けること

(使用者に対する注意)

- ・誤って注射された者は、直ちに医師の診察を受けること。
- ・本剤が誤って使用者等の眼、鼻、口等に入ったときは、直ちに水で洗浄やうがい等を行い、医師の診察を受けること。
- ・筋肉内注射を行う場合、注射時に注射針が血管あるいは臓器内に入っていないことを確認してから投与すること。

(対象動物に関する注意)

- ・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。
- ・筋肉内注射で1回の投与量が多い場合又は連続投与する場合は注射部位を変えること。

(専門的事項)

① 重要な基本的注意

- ・本剤を牛又は豚に投与する場合は、頸部又は耳根部に投与すること。
- ・本剤の使用に当たっては、耐性菌の発現等を防ぐため、原則として感受性を確認し、適応症の治療上必要な最小限の投与に止めること。

② 相互作用

- ・本剤とデキストラン、アルギン酸ナトリウム等腎障害を起こすおそれのある血液代用剤との併用は腎毒性を増強することがある。
- ・本剤はクラレ様作用（神経筋接合部遮断作用）による呼吸抑制が見られることがあるので、麻酔剤、筋弛緩剤との併用は慎重に行うこと。
- ・本剤はフロセミド等の利尿薬との併用により腎毒性及び聴器毒性が増強されるおそれがあるので、これらの利尿薬との併用は避けることが望ましい。

【有効期間】

24 カ月

【包装】

20 mL × 10 本（ガラスバイアル）

100 mL × 5 本（ガラスバイアル）

【製品情報お問い合わせ先】

フジタ製薬株式会社

〒193-0942 東京都八王子市柵田町1211

電話 (042) 661-5528 (代)

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<https://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>) にも報告をお願いします。

販売元



ささえあ製薬株式会社

東京都品川区西五反田七丁目7番7号

製造販売元



フジタ製薬株式会社

東京都八王子市柵田町1211番地1

FUJITA PHARM